

大会規定

- 1 試合はトーナメント方式とする。（第3位決定戦を実施する。）
- 2 試合は6イニング制。コールドゲームは3イニング以降10点差、5イニング以降7点差とする。
※決勝戦はコールドゲームを適用しない。
- 3 雨天時のコールドゲームは、5イニング終了時点で試合成立とする。
（ただし、後攻チームが勝っている場合は、5回表先攻チームの攻撃終了時点で試合成立。）
- 4 試合時間は90分とし、80分を超えた時点で次のイニングには入らない。
- 5 6イニング終了時または80分を超えてイニングが終了した時点で同点の場合はタイブレーク制を採用する。
※攻撃は、0アウトランナー1、2塁から開始し、前イニングからの継続打順で、前イニングの最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁ランナーとする。
※1イニング終了時、得点が多いチームを勝者とし、勝敗が決しないときは最長2イニングまで実施する。
※タイブレーク制で勝敗が決しない時には抽選で勝者を決定する。（決勝戦はタイブレーク戦で決する。）
- 6 投手の投球制限については、1日70球以内とする。
試合中に規定投球数に達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
タイブレークになった場合、1日規定投球数以内で投球できる。
ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。
牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
投球数の管理は大会本部が管理する。
- 7 投球練習は初回5球、以降は3球とする。ただし、投手交代時は5球とする。
- 8 シートノックは当該チームの各試合日の1試合目の未実施する。
- 9 キャッチャーは必ずファウルカップを着用し、試合前に審判員に提出し確認を受ける。
- 10 グラウンド内に控え選手が入るときには、必ずヘルメットを着用する。
- 11 試合球は公認J号ボールを使用する。（各チーム試合球を2個提出する。）
- 12 抗議は監督及び当該プレーヤーのみとする。
- 13 投球を受けた捕手はその場から速やかに投手に返球し、また、捕手から返球を受けた投手は速やかに投手板に触れて投球姿勢をとる。
- 14 攻守交代時はベンチを離れて速やかに守備につく等、試合のスピードアップに努める。
- 15 その他、野球ルールについては、公認野球規則及び全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球に関する事項により行う。